

事務事業名称	香里ヶ丘図書館周辺整備調整事務										
測定年度	2022(R4)年度		部	総合政策部			課	政策推進課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	香里ヶ丘地域における若年・子育て世帯の定住促進につながる取り組みの関係者 (UR都市機構や庁内関係部署等)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	香里ヶ丘地域のさらなる活性化に向け、香里ヶ丘図書館周辺整備を公民連携で進めるための各種調整が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	香里ヶ丘図書館周辺整備に係る各種調整を行うことで、公民連携による若年・子育て世帯の定住促進につながる取り組みが円滑に実施される。				
事業概要	香里ヶ丘図書館の周辺におけるUR都市機構や庁内関係部署等との公民連携による取り組みに関する連絡調整				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		意見交換等の結果を踏まえ、各種調整を図ることで、円滑に公民連携による取り組みを実施できる。	香里ヶ丘図書館周辺整備に向けた、UR都市機構や庁内関係部署等との意見交換を実施。
指標設定	指標説明	公民連携による取り組みの実施に向け調整を図った件数	UR都市機構や庁内関係部署等との意見交換の回数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 件	単位 回
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	1 1 1 1	3 3 3 3
達成度	0 0 0	1 0 0	0% 0%

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	239	157	312		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	239	157	312		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	239	157	312		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	香里ヶ丘図書館周辺整備については、施設が完成しているため意見交換等を実施していない。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	香里ヶ丘図書館周辺整備については、施設が完成し一定の役目を終えているため、終了も含め今後の当該事務事業の取扱いについて調整を行う。

事務事業名称	学園都市ひらかた推進協議会事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	政策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-2.産学公連携の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1999(H11)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	学園都市ひらかた推進協議会規約				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯にわたって学ぶ意欲のある市民			
	サブターゲット	枚方市内5大学(大学生含む)			
	ターゲットが抱える課題	市民の「学びたい」、「大学を知りたい」、「地域とつながりたい」と感じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「学園都市ひらかた」の実現に向けて、各大学の特色及び大学生の声を生かした各種事業により、大学と市民及び地域、大学間及び学生間の交流・連絡が促進されている状態。				
事業概要	「学園都市ひらかた」の実現に向けて、枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会を開催し、調査・研究及び連絡調整を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	児童・生徒や市民の「学びたい」、「大学を知りたい」、「地域とつながりたい」というニーズが満たされる。	市民等を対象として、枚方市、市内全5大学の学生や教員が参画した事業が行われる。	枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会を開催し、調査・研究及び連絡調整を行う。
指標説明	学園都市ひらかた推進協議会で実施した事業に参加した市民(学生含む)の人数	学園都市ひらかた推進協議会で実施した件数	枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会の開催数
	単位 人	単位 件	単位 件
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
指標数値	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	2,600 800 900 1,000	1 4 4 4
達成度	934 922 1,794	2 4 3	2 2 2 2
達成度	199%	75%	100%

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.17
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,343	5,264	1,328		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,343	5,264	1,328		
	物件費計	180	0	0	180	0.0%
	歳出計	5,523	5,264	1,328		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	180	0	0	180	

5. 総括的分析

総括的分析	学園都市ひらかた推進協議会として実施した事業数は1つ減少したものの、各大学との連携実績が増加したため事業に参加した市民(学生含む)の数は大幅に増加し指標としても目標を達成することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後より多くの参加を促進するよう、各大学と密に連携し、積極的な情報発信等に努めるとともに、2025年の大阪・関西万博を見据え、本市の魅力や市内大学の取組を効果的に発信できる事業構築に向け、各大学と協議・検討を行う。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 547

事務事業名称	地域活性化事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	政策推進課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	内部事務	区分	一般事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市民			
	サブターゲット	枚方市に関わる事業者等			
	ターゲットが抱える課題	より魅力あるまちで生活や事業活動を行いたい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市東部地域や枚方市駅周辺等でのまちづくりが進むことで、市全体の魅力が向上し活性化した状態。				
事業概要	「枚方市東部地域の活性化に向けて」(令和4年3月策定)に沿った東部地域活性化の取組を進めるため、地域との窓口としての連絡調整や、取組の具体化に関する庁内調整を行う。 枚方市駅周辺再整備に関する協議に参画する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		人々の交流が盛んになり、地域が活性化される。				各主体と連携した地域活性化に資する取り組みが実施される。				各主体と地域活性化について検討する。			
指標設定	指標説明	市の観光資源が活かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合 (4年に1回調査)				市主体で実施する「東部地域活性化の考え方」に基づく取り組みの実施件数				枚方市における東部地域活性化に関する取り組みの企画数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	-	-	23.20	24.20	-	-	3	5	-	-	6
	実績	-	-	17.70		-	-	7		-	-	7	
達成度	76%				233%				117%				

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.94
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	17,678	7,343		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	17,678	7,343		
	物件費計	—	0	2,617	2,628	99.6%
	歳出計	—	17,678	9,960		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	—	0	2,617	2,628	

5. 総括的分析

総括的分析	取り組みを本格的に開始したところであり、アウトカムへの影響は見られなかったが、今後地域を活性化していくための取り組みの企画数及び実施件数については目標を達成することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	2025年大阪・関西万博を見据え、自然や歴史・文化等の地域資源と事業者等が持つ技術、サービスを活かすことで新たな特産品・観光コンテンツを創り出し、持続可能なビジネス創出による地域活性化に取り組む。

事務事業名称	大阪・関西万博関係事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	政策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	内部事務	区分	一般事務事業	
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	~	R7年度(2025年度)	年度まで
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称				サンセット	~	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市民、市外在住者(主に国内外の万博来訪者)				
	サブターゲット	市内の企業、団体等				
	ターゲットが抱える課題	2025大阪・関西万博を契機に、枚方のまちの魅力を向上させるため、市民をはじめとする多様なパートナーシップによる機運醸成が必要。				
	ターゲットが抱える課題	2025大阪・関西万博を契機に、枚方のまちの魅力を向上させるため、市民をはじめとする多様なパートナーシップによるまちの魅力向上・発信につながる取組が必要。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	2025大阪・関西万博を契機に、枚方のまちの魅力が向上し、市民のまちへの愛着が高まるとともに、多数の企業や人が枚方市に呼び込まれることで、新たな魅力や賑わいが創出され、地域経済が活性化している状態。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「ひらかた万博」に向けた公民共創の取り組みの推進 2025大阪・関西万博本会場への市内企業・団体等のブース出展支援 TEAM EXPO2025「共創チャレンジ」への市内企業・団体等の参画支援 					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	人々の交流が盛んになり、地域が活性化される。	人々の交流が盛んになり、地域が活性化される。					ステークホルダーによる共創チャレンジを通じて、市内外の人々が自ら主体となって未来に向けて行動を起こしていく。				共創パートナーとして、ステークホルダーによる枚方市をフィールドとした共創チャレンジへの参画を支援する。		
指標設定	指標説明	市の観光資源が活かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合 (4年に1回調査)				共創チャレンジの登録数(延べ)				共創チャレンジへの参画に係る調整案件数(延べ)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	-	-	24.20	-	-	5	10	-	-	10	20
	実績	-	-	17.70		-	-	4		-	-	7	
達成度					80%				70%				
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
人々の交流が盛んになり、地域が活性化される。	人々の交流が盛んになり、地域が活性化される。					ひらかた万博関連イベントに市民や市外からの来訪者が参加する。				「ひらかた万博」パビリオンに見立てた様々な分野の取り組みを推進する。			
指標設定②	指標説明	市の観光資源が活かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合 (4年に1回調査)				ひらかた万博関連イベント参加者数(延べ)				ひらかた万博関連事業数(延べ)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	-	-	24.20	-	-	16,450	32,900	-	-	55	105
	実績	-	-	17.70		-	-	7,262		-	-	10	
達成度					44%				18%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.47
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	0	11,484		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	11,484		
	物件費計	0	0	2,738	3,520	77.8%
	歳出計	0	0	14,222		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	2,455	3,520	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	2,455	3,520	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	283	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>共創チャレンジの登録数、調整案件数ともに目標値を下回る結果であり、事業者等の大阪・関西万博への機運醸成がまだ十分に進んでいないことがうかがえる。今後は、事業者等との対話を重ね、共創チャレンジの登録支援を進める。</p> <p>ひらかた万博関連事業数、イベント参加者数については、指標を設定した時点から、ひらかた万博関連イベントの考え方、基準が変わっていることから実績との乖離があった。今後は、関連イベントの考え方、基準に基づき実態に即した指標設定を再考するとともに、庁内各部署、事業者等と連携し関連イベントの拡充を図る。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	<p>2025年に向けて市内外で大阪・関西万博への機運の高まりが予想される中、そのチャンスを逃さずに、本市の地域資源を活かしたビジネス創出を加速させるため、ひらかた万博共創プラットフォームを活用した公民・民民による共創事業の推進、事業者間のマッチング促進を図っていく。また、府補助金等を活用したイベントの企画・実施や、共創チャレンジの創出・登録への支援を進める。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 839

事務事業名称	公民連携推進事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	政策推進課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	
事業期間		年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市と連携する事業者			
	サブターゲット	市職員			
	ターゲットが抱える課題				
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公民連携に積極的に取り組む自治体であることが事業者等に認知され、様々なパートナーと連携できる状態 公民連携の考え方が庁内職員全体に浸透し、公民連携事業により様々な市の政策課題が解決される状態				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 事業者等との市の一元的な窓口である「公民連携プラットフォーム」の運営。 公民連携プラットフォームを活用した「まちづくり提案事業」の実施。 大阪府公民戦略連携デスクや大阪府スマートシティパートナーズフォーラム等の関係機関との連携調整。 公民連携によるスマートシティ化の推進。 公民連携に関する市職員の意識醸成。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		公民連携事業が実施される。				市の課題解決に向けて公民連携事業が積極的に検討される。				公民連携プラットフォームを活用し、市の政策課題を積極的に発信する。			
指標設定	指標説明	公民連携事業の実施件数				公民連携プラットフォームにおける市が掲載した課題に関する事業者等からの提案数				公民連携プラットフォームに掲載する市の課題数(新規課題)			
		単位		件		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	-	15	20	-	-	20	25	-	-	10	15
実績	-	29	24		-	25	23		-	9	23		
達成度	160%				115%				230%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		公民連携事業が実施される。				全庁的に公民連携への積極的な姿勢が高まることで、事業者等から多くの提案が市に寄せられる。				公民連携に関する職員の意識を醸成する。			
指標設定②	指標説明	公民連携事業の実施件数				公民連携プラットフォームにおける事業者等が自由に検討した内容に関する提案数				公民連携に関する職員向け研修の参加人数			
		単位		件		単位		件		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	-	15	20	-	-	50	55	-	-	150	200
実績	-	29	24		-	40	69		-	80	125		
達成度	160%				138%				83%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.27
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	26,007	17,733		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	26,007	17,733		
物件費計	-	2,897	0	0		
歳出計	-	28,904	17,733			
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	-	2,897	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	指標については概ね目標を達成しているが、公民連携に関する職員の意識醸成については更なる浸透を図るため研修等の機会を創出する必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	公民連携の更なる推進に向け、手続き等を明確化し庁内外への浸透を図るとともに公民連携に取り組みやすい風土づくりや課題の掘り起こし、対話の活性化に向けた他の仕組みの活用等を検討する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 840

事務事業名称	政策調整関係事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	政策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市の重点的な課題について、組織横断的視点による政策形成が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市の目指すまちづくりに向けて、重点的に取り組む政策が実現する。				
事業概要	市長の特命案件に関すること(定例会議運営含む)をはじめ、市の重要な政策課題に関する検討及び調整を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						重点的に取り組む施策が実施される。				政策調整関係事務を実施する。			
指標設定	指標説明					重要な政策課題に関する取組の実施数				重要な政策課題に関する庁内会議の開催回数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					-	-	5	5	-	-	10	10
	実績					-	-	5		-	-	24	
達成度						100%				240%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.19
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	0	9,296		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	9,296		
	物件費計	0	0	40,244	80,400	50.1%
	歳出計	0	0	49,540		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	39,696	68,418	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	39,696	68,418	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	548	11,982	

5. 総括的分析

総括的分析	市長の特命事項として、企業版ふるさと納税による寄附獲得や新庁舎併設施設の検討、定住促進に関する各種プロモーションの取り組みな様々な施策の検討や調整を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	財源確保に向けては、引き続き企業版ふるさと納税による寄附の獲得に向けた働きかけを行うとともに、「ふるさと納税3.0」など新たな手法を検討する。 定住促進に関して、関係部署との協議や調整を行い市外に向けた効果的なプロモーションに取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 936

事務事業名称	政策推進課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	政策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市の重点的な課題について、組織横断的視点による政策形成が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市の目指すまちづくりに向けて、重点的に取り組む政策が実現する。				
事業概要	○課の運営業務 ○その他庶務事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.92
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	6,050	7,187		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	6,050	7,187		
	物件費計	-	0	0	0	
	歳出計	-	6,050	7,187		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	課の庶務事務については円滑な執行が行われた。
-------	------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も継続して庶務事務の円滑な執行を図る。